

産業建設教育常任委員長報告

令和6年11月25日

産業建設教育常任委員会では、11月5日から6日にかけて行政視察を実施しましたので、その概要を報告いたします。

まず、視察1日目は群馬県太田市の群馬東部水道企業団を視察しました。群馬東部水道企業団は、給水人口の減少や施設の老朽化に対応するため、8市町が協力し広域統合を進めていました。包括業務委託を導入し、職員が課題解決に専念できるよう業務を効率化。また、施設の耐震化も進め、垂直統合による一元管理でコスト削減や安全性向上を図っていました。官民連携によって役割分担を明確にし、住民への安定供給を目指すこの事業は、利便性と安価な水供給の確保に寄与し、住民満足度の向上に貢献していました。

次に、視察2日目は群馬県前橋市を視察しました。前橋市は人口減少対策として日赤病院跡地を利用し、日本版 CCRC の理念を取り入れた「コロンシティまえばし」を推進していました。年齢や障害に関係なく、全世代が安心して暮らせる環境づくりを目指し、公園や商業施設、医療・福祉施設を集約させていました。Park-PFI 制度を活用し、地域に新たなコミュニティを構築。行政との連携により、地域交流の場として機能し、住民のニーズに応えるプロジェクトとして発展を続けていました。

視察の最後には、高崎市で開催されている「福井フェア」を訪れました。北陸新幹線の敦賀開業により、福井がより身近になりつつある中で、福井県産の食材を活かした多彩な料理が提供され、地元の魅力を余すことなく発信することができるイベントだと感じました。また、関東で福井がどのように宣伝されているかを知る貴重な機会となりました。

今回の視察では、群馬東部水道企業団の効率的な水の供給システム、前橋市の「コロンシティまえばし」における官民連携事業を通して、地域間連携や住民サービスの向上が住民満足度を高め、地域の魅力を広く伝える重要な要素であることを実感しました。

以上、産業建設教育常任委員会の行政視察の報告といたします。